

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

②施設・事業所情報

名称：戸塚せせらぎ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：都丸真希	定員（利用人数）：80名
所在地：神奈川県横浜市戸塚区矢部町3001番2 第7山洋ビル1階	
TEL：045-443-6976	ホームページ： https://www.cosmo.bz/ed/totsuka-seseragi/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人大和まほろば福祉会	
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：2名
専門職員	（保育士）15名 （幼稚園教諭）：1名
	（管理栄養士）：1名 （栄養士）：2名
施設・設備 の概要	保育室：4室 トイレ：4か所
	調理室：1室 エレベーター
	事務室：1室 園庭：有
	更衣室

③理念・基本方針

法人理念 未来を背負う子供たちのため一人ひとりを大切に、園生活での様々な経験を通して「生きる力」を育みます。

教育・保育方針

礼儀・挨拶「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」が言える子に

返事 「ハイ」の返事ができる子に

履物を揃える 自分の行いを振り返ることができる子に

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・3歳児クラス以上からは学習(読み書き計算、体操、発声)を毎日の保育カリキュラムに導入しています。
→(週に1回の幼児クラス対象のダンス正課指導、年間12回の体操指導、年間8回の保育・体操の総合指導を幼児活動研究会株式会社 会社の方に依頼をして保育力、指導力の向上の機会を設けています)
- ・見学対応に力を入れており6月末～11月末までにかけて毎週火曜日10時～と11時～の計2回、1部毎に5家庭をご案内し、1日に10家庭をご案内する体制を整えています。見学対応は副主任保育士と主任保育士が担当しています。また、見学時には乳児保育体験会、離乳食試食会を開催し、保護者の方々が受け身になりすぎないように内容を試行錯誤しています。
- ・今年度から特に養成校周りに力を入れていきます。現園長が主に専門学校や保育コースがある高等学校を訪問し、パンフレットの配布や当園の紹介等を行っています。今年度は養成校の専門学校から夏季期間に水遊びの監視アルバイトに学生が参加をしてくれました。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年10月1日(契約日) ～ 2025年1月24日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	7回(2023年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

「特長」

0歳児の離乳食に関して栄養士等の専門職が保護者の不安解消に努めています

園には栄養士2名、調理師1名が在籍しています。毎月の給食献立表の作成、子どもの食育指導等で専門知識を活かしています。0歳児の離乳食への取り組みについては、保護者の不安の解消に向けて「離乳食の記録」を作成しています。「離乳食の記録」初期食、中期食、後期食、完了食の段階ごとに柔らかさの目安、食事回数、授乳回数、食べられる食材の例等が記載されています。また、食材ごとに初めて食べた日の記録を記入する表も記載されており、保育園で離乳食を提供する際にも役立っています。園では保護者の就労と子育ての両立を支援し、離乳食の不安解消に努めています。

職員が保育スキルだけではない総合力を高め、保育に還元しています

当園が大切にしている基本方針に則り、職員育成を行っています。保育士に求められるキャリアアップ研修の受講、法人内の交流を通じた同じ年齢のクラス見学による気づきの数々を通じて保育のスキルアップを図っています。また委託先のスポーツクラブの先生の動きを学んだりするなど専門スキルの向上に努めています。しかし、園で大切にしているのは保育の専門スキルは当然とした人間教育的な要素です。園の基本方針を体現するために内容を理解し深めていくために、日々の昼礼や定期的実施している園長との面談を行っています。また心身の健康を促すために職員が働く労務環境の向上にも努めています。スキル向上、心身の向上を図り園の基本方針の実現に向けて子どもたちの保育を行っています。

「今後期待される点」

今後は更に地域とのつながりを深めていくことに期待します

当園は駅に近く、他の保育園も数多くあります。そのため、お散歩や公園で顔を合わせたり、定期的にイベントに参加したり交流を図っています。また、年長クラスでは交流会を実施しています。近隣にある保育士養成校や専門学校の発表会に参加する等して、地域の人々と子どもの交流の幅を広げる取り組みを行っています。しかし、地域コミュニティの活性化に貢献するまでには至っていません。また、地域の防災対策にも十分に取り組んでいるとは言えない状況です。今後は更に地域とのつながりを深めていくことを期待します。

関係者と連携を深めていくための情報共有強化が望まれます

園の運営には様々な関係者が関わっています。保護者や地域関係機関、また園の内部では委託先の会社、非常勤職員の方々が関わり園を支えています。特に保護者に対しては、園の基本方針を重要事項説明書にまとめるだけでなく、年度初めの保護者会などでも丁寧にわかり易く話をして園の考えを伝えていきます。また行事ごとにアンケートを取り、状況を把握しながら次回に活かすようにも努めています。一方で伝える情報が多く、重要度の温度感が伝わりづらいものも散見されました。これまでも情報の収集・分析そしてわかり易い資料作りなど行っていますが、情報の見える化、伝わり易さ等を考慮し関係者と園情報の共有を図っていくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、貴重な機会をいただきましてありがとうございます。

保育の現状や、環境設定について詳しく見ていただき、様々なご指導をいただけたことに感謝申し上げます。このように、第三者の視点をお聞きすることで、改善点だけではなく、自園の強みにも気づくことができました。戸塚せせらぎ保育園は、地域に根ざした保育園、そして子供達にとっても保護者の皆様にとっても、より良い保育園となるため、今後も力を尽くしてまいります。今回の結果を、そこへ向かうための道標として、保育園全体で共有し、実践してまいります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり